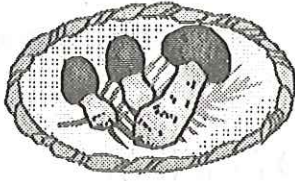


ふれあいめーる かつま



号外1

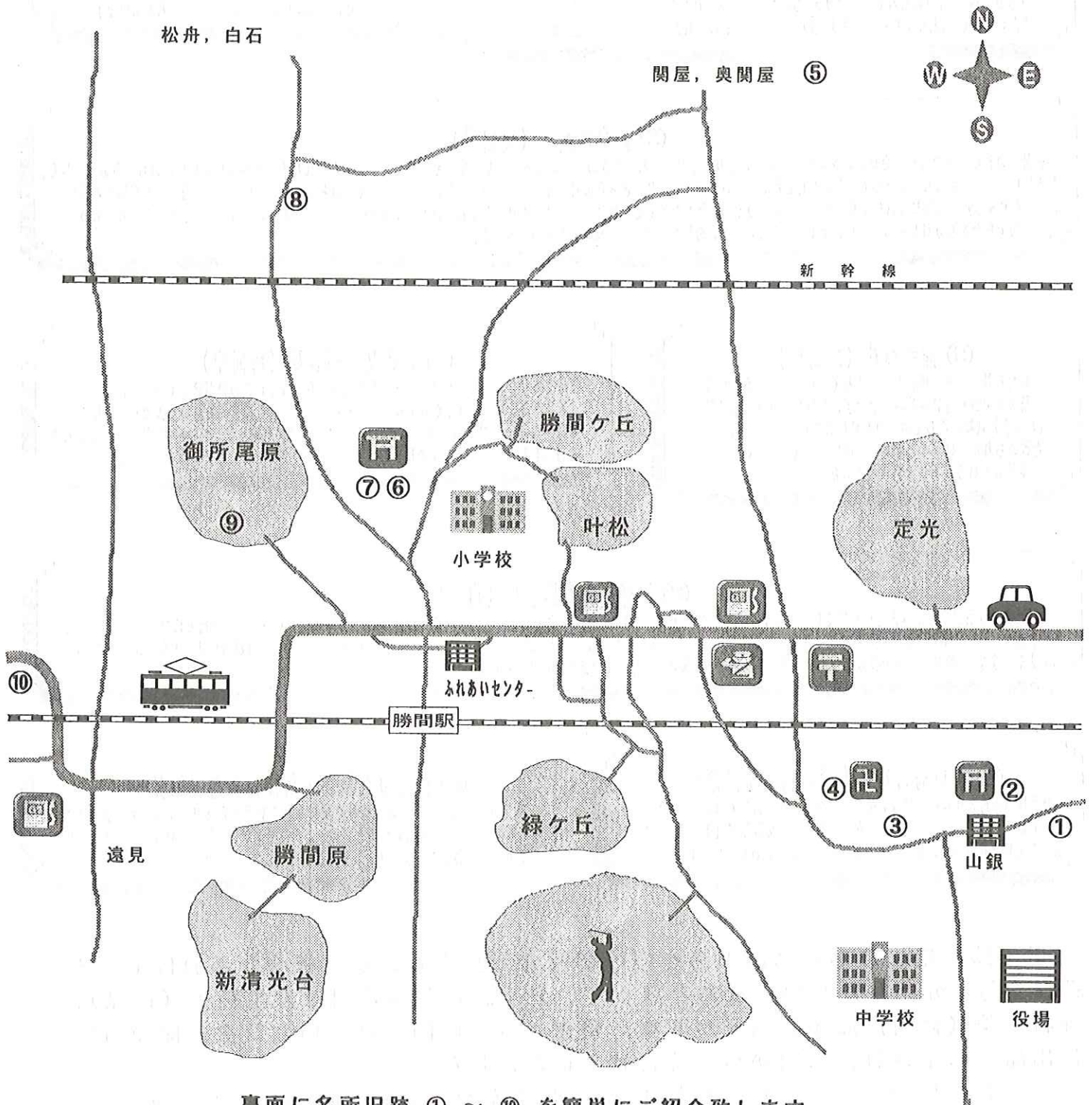
熊毛町生涯学習のまちづくり

勝間地区推進協議会

平成10年9月24日

こんなにある身近な名所旧跡

ご存知ですか私たちの住む勝間地区にある名所旧跡 ① ~ ⑩



裏面に名所旧跡 ① ~ ⑩ を簡単にご紹介致します。

① 呼坂宿駅本陣跡（本町）

呼坂の町の中ほどに門構えの古風な屋敷、河内家邸宅があります。これはその昔参勤交代などで大名や上使が休んだり泊まったりした、呼坂宿駅本陣であった家です。河内家には当時大名などが休んだり泊まったりした屋敷が残っており、また大名などの名前を書いた御休札もいろいろ保存されていて、熊毛町史跡に指定されています。

② 樫原神社（本町）

呼坂の高台山にあり、はじめは弘仁2年(811)に紀州熊野大権現の分霊を勧請して閨屋に社が建てられていたのをここに移したものと伝います。

③ 吉田松陰・寺島忠三郎決別の地（西町）

寺島忠三郎は高水原村出身で、吉田松陰に師事し、幕末に勤皇の志士として活躍しました。安政6年(1859)6月3日、江戸送りの松陰の護送の別がこの地呼坂を通過しました。このおりに忠三郎は声を掛けることはかなわず、黙って見つめ合う二人の胸のうちはいかにばかりであったでしょう。その思いを二人は次のように詠んでいます。

「取りあへぬ 今日の別れぞさちなりき ものをいわば思ひをぞまさん」 松陰
「よそに見て 別れゆくだに悲しさを 言にも出でば思ひみだれん」 忠三郎

④ 西善寺（西町）

真宗本願寺派で寺格は上座二等甲種特別という格式の高いお寺です。天正4年(1576)3月の創建、慶長12年(1607)4月二世准如上人の時に西善寺という寺号が公に免許され、延宝7年(1679)5月に地方(じがた)の萩尾山よりこの西町に遷されたものです。

⑤ 延命地藏堂（奥閨屋）

奥閨屋の奥に尊台のない延命地藏尊を安置したお堂がありますが、これには次のような伝説があります。その昔、奥閨屋村と八代村との境界の仏坂峠にこのお堂がありました。ある年にこのお墓が壊れかけたので、お堂を村に移そうということになり、どちらの村に移すかでもめました。結局翌朝早くこのお堂まで来て仏様を持ち帰った方が勝ちと言うことになりました。奥閨屋は八代よりも仏坂から遠いので、一計をたててその晩は山中にひっそりとかくれていて、夜の明けぬ間にこっそりと持ち帰りました。ところがあわていたので尊台を取り残してしまったのです。そんなわけでこの延命地藏尊には尊台がないそうです。

⑥ 熊毛神社（勝間中）

勝間神社、厨子八幡宮とも呼ばれて、勝間村の中心に位置し周防の国で最も古い神社の一つです。伝説によれば当初は羯磨(かつま)八幡と称していたのを豊臣秀吉によって勝間八幡宮と改められたということです。慶応2年(1866)に熊毛神社という社号に改められました。

⑦ 渡辺又三郎君碑（勝間中）

熊毛神社参道の石段を少し上った左側の草むらのなかにこの碑が建っています。渡辺又三郎は明治43年から26年間にわたって熊毛神社の宮司を務めた人で社殿や社庫、社務所の再建や社格の昇進に力を尽くしました。(熊毛神社は大正4年県社に格上げされた)その功をねぎらうため、氏子総代によって昭和10年3月にこの碑が建立されました。

⑧ 熊野貞秀斎顕彰碑（白石）

熊野貞秀は明治中頃から大正にかけて郷土における生花・茶道の師匠を務めた人で明治2年白石に生まれました。明治20年頃から花道に志、遠州流について学びました。本名を兵熊と伝いますが、彼は特に熱心で上達も早かったので、師匠から貞秀斎の号を受け、遠州流を伝授されました。当時の生花・茶道の師匠は郡内には一人か二人しかいなかったといわれます。彼は58才で歿しましたが、門人有志によって大正11年にこの顕彰碑が建てられました。

⑨ 豊臣秀吉宿泊本陣跡（御所尾原）

勝間駅の西約300m、国道2号線の北の小山を開拓して御所尾原団地が出来ていますが、このあたりは御所ヶ原といって、文禄年間(1592~)秀吉が朝鮮出兵の折、途中ここに陣所を設けたといわれています。

⑩ 御腰掛茶屋跡・駕籠建場跡（遠見）

遠見の岩徳縁ガードを西に抜けた所に柳屋という家があり、その前に江戸末期頃まで使われた御腰掛茶屋と駕籠建場とがあったそうですが、岩徳縁を敷設するときに取り壊されて今は跡方も有りません。風化した石が二つ、三つ!

以上勝間地区にある名所旧跡を概略御紹介致しましたが、機会があればもっと詳しく御紹介出来たらいいなと思っています。なお本資料は井生純子(遠見)、野村里美(御所尾原中)両氏が収集、整理され、勝間ふれあいセンター開館行事に出品、展示された資料から抜粋させて頂きました。

ふれあいめーる かつま 号外1 発行にあたり、両氏に感謝いたします。
本件に付いてのお問い合わせは勝間ふれあいセンター (Tel 92-0043) でお受けします。